

私とオリンピック

校長 田中 準三

夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってまいりました。長期にわたる休みでしたが、お子様の様子はいかがでしたか？ 計画停電の可能性が心配された今年の夏でしたが、どうやらそれもクリアできそうで私も胸を撫で下ろしています。ただ、残暑が続く中、運動会の練習が早速始まります。こまめに水分を摂らせるなど、熱中症対策には万全を期したいと存じますが、ご家庭でも帰宅後の健康観察などにご留意をお願いいたします。

今年の夏の話は、なんと言ってもロンドンオリンピックでした。神戸になじみの深い「なでしこジャパン」やレスリング、男子体操に女子バレー、さらには男女競泳陣など、日本選手団の大活躍は本当に素晴らしかったですね。金メダル7つを含む38個のメダルは、これまで日本が獲得した歴代オリンピックで最多を記録しました。時差の関係で多くの競技が深夜に行われ、睡眠不足状態に陥った方もたくさんいらしたのではないのでしょうか。かく言う私もそのうちのひとりですが……。

日本で「東京オリンピック」が開かれた1964年は、今から48年前になります。年齢がばれてしまいそうですが、私はちょうど小学校4年生でした。私の母校は垂水小学校ですが、日の丸の旗を振りながら国道2号線を通る聖火ランナーに声援を送ったことが、昨日のことに思い出されます。遙か昔のことですが、東京オリンピックの記憶は私の中でとても鮮烈で、それは子ども心に自分も将来オリンピック選手になりたいと強く思ったことに起因しています。全く資質のない私には叶うはずありませんでしたが、聖火最終ランナーの坂井義則さんが聖火台に点火する様子を伝えるアナウンサーの声や体操競技の遠藤幸雄選手、重量挙げの三宅義信選手（ロンドンオリンピック銀メダリストの三宅宏実選手の伯父）などが活躍する姿が走馬灯のようによみがえります。

ロンドンオリンピックには「なでしこジャパン」のほかにも、メダルの獲得は成りませんでしたでしたが、やり投げのディーン元気選手（春日台小学校出身）、マラソンの山本 亮選手（美賀多台小学校出身）、重量挙げの八木かなえ選手（押部谷中学校出身）といった神戸にゆかりのある選手も出場しました。ロンドンオリンピックはたくさんの若宮っ子もテレビ観戦したことと思います。その中には幼い頃の私同様に、オリンピック選手を夢見た子どもたちもいたのではないのでしょうか。バレーボール、水泳、卓球、バスケットボールなど、最近は小学生の大会も盛んで、この夏も2つのバレーボール大会と水泳競技大会が実施され、本校の児童もたくさん参加しました。

2020年の夏季オリンピック大会開催地に東京が立候補しています。マドリード、イスタンブールという競合する都市もありますが、願わくば、2020年に「56年ぶりのオリンピック東京大会に若宮小学校出身の選手が出場！」 そんなことが実現すれば、本当にうれしいのですが……。